

【学生の意見】

テーマ：「キャンパスにおける学びの環境～アカデミック・リンクが学生の学びにどのように生きているのか～」

- ・普段アカデミック・リンクをどのように活用しているのかを教えてください。
- ・アカデミック・リンクにおける学習支援及び学習環境整備をさらに充実するため、どのような支援を希望するか教えてください。

学部1年

普段はアカデミック・リンクを大学附属図書館で使っている。図書館では一人用の自習机を使っている。一つの席それぞれにコンセントやLED照明、ブラインド、小窓がついていて、また机が広々としていてとても自習しやすい。図書館内に様々な種類の学習スペースがあるのも、自分好みの場所を見つけられて良い。

また、図書館内にあるグループ学習スペースにある、会話可能エリアのテーブルが話し合いの場としても使いやすい。総合校舎内に並べられている学習机も、ちょっとした時間に自習することができてありがたい。

大学附属図書館内の設備はとても整っているから、今以上に良くする案は思いつかない。設備以外に関する希望は、図書館内の空調を整えてほしい。N棟の長机のあたりはエアコンが効いておらず、暑くて勉強に集中できなかった。

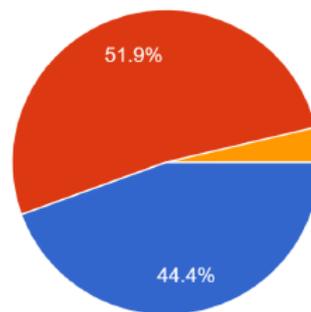
また、図書館内が混んでいて、空いている机が見当たらない、ということが多々ある。図書館の混雑状況について、図書館のサイトなどからどのくらい混雑しているかが分かると、空いてる席探しに時間をかけすぎることがなくて良いと思う。

亥鼻キャンパスの図書館に西千葉キャンパスの図書館のような会話可能エリアや、緩衝エリアがあると利用しやすくなると思う。

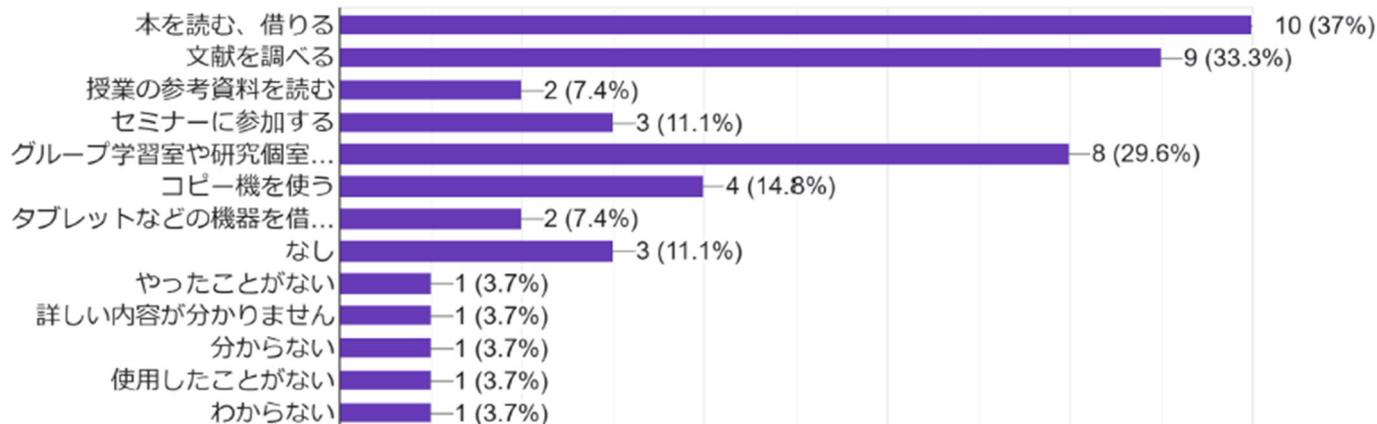
学部2年

アカデミック・リンク・センターとは何かを知っていますか（27件の回答）

- どんなものか知っている
- 名前は聞いたことがあるがどんなものかは知らない
- 名前も聞いたことがない



アカデミック・リンク・センターにおいてやった事がある項目にチェックを入れてください（27件の回答）



- ・西千葉図書館にあるようなプレゼンスペースがあったら気軽に参加しやすい
- ・学習スペースを利用できる機会を増やして欲しい
- ・亥鼻キャンパスでもプリントアウト用紙を用意して欲しい
- ・亥鼻キャンパスでの活動を広げてほしい

学部3年

○どのように活用しているのか

まず、以下のように、アカデミック・リンクに対する好意的な意見が寄せられた。

- ・テスト前に自習する場として利用している。
- ・西千葉で授業を受けていた時、空きコマでは図書館で自習して過ごしていた。勉強に集中しやすい環境が用意されていたので快適に利用することができた。
- ・自分がその時どのくらい集中したいかによって学習する場所を使い分けることができてよかった。
- ・自分の興味を深めるのにブックツリーが非常に役立った。

その一方で、アカデミック・リンクの取り組みを知らなかったり、馴染みがない生徒も多いことがわかった。

- ・アカデミック・リンクという言葉は聞いたことがあるものの、それを意識して施設を利用したことがないので未だにうまく理解できていない。
- ・周囲にアカデミック・リンクを利用している人が少なく、利用したいと思ってもためらってしまうことが多かった。
- ・オンライン上でのサポートを手厚くしていることは理解しているが、亥鼻キャンパスで生活するにあたってそれらを積極的に利用していくことがあるようには思えなかった。

○どのような支援を希望するか

まず、アカデミック・リンクが提供している学習支援等の周知を、より積極的に行ってほしいという声が上がった。

- ・論文やレポートの書き方、資料の探し方など、学生生活に必要なことを教える機会をたくさん設けてほしい。
- ・今回の動画を見て初めて知った取り組みが多かったので、動画での説明や対面での紹介があるとよりアカデミック・リンクを活用できると思う。

また、亥鼻キャンパスの附属図書館に言及している意見も多かった。

- ・西千葉キャンパス・松戸キャンパスには普段行かないためアカデミック・リンクを利用できていない。亥鼻キャンパスでも同様に学習への手厚い支援をしてほしい。
- ・西千葉の図書館のような大きなオープンスペースが欲しい(亥鼻の図書館内でもそれ以外の場所でもどちらでもよい)。
- ・亥鼻の図書館は西千葉と比べて昼間でも薄暗く、空気が重たいと感じるので、明るさや雰囲気などの観点から学習環境を改善してほしい。

さらに、今回のテーマに関連して、アカデミック・リンクに限らない、亥鼻キャンパス内での学習環境に対する意見も寄せられた。

- ・薬学部はプレハブで授業を受けていて、学部ごとの施設に格差があると感じる。
- ・医学部棟内には医学部生専用の自習スペースがあるにも関わらず、薬学部、看護学部にそのようなスペースがないのは残念に思う。もちろん、全学部生が使用可能な自習スペースはあるが、特定学部生にのみ使用可能なスペースをつくるのであれば、他の学部にも同様の対応をしてほしい。
- ・亥鼻の図書館には西千葉にあるような会話や議論をしながら勉強できるスペースが無いいため、医学部棟のオープンスペースをその代わりに使用している。亥鼻図書館にも、予約不要で制限時間のないスペースができれば自分も含め利用する人は多いと思う。

また、亥鼻図書館の開館スケジュールについて以下のような意見もあがった。

- ・テスト前に自習をするのに利用しているが、テスト直前の土日に休館となっている時があるのが非常に不便だと感じた。例えば2024年度では第5タームの期末テストが1月21-27日にかけてあるが、その直前の三連休17.18.19日が休館となっている。去年も同様のことがあったため、テストがある5.7.11.1月の末の土日は開館していただくととてもありがたい。

学部4年

普段の活用の状況：

- ・亥鼻キャンパスの附属図書館は自習のために利用している
- ・学部1年の時には講義課題でグループ学習を利用していた
- ・論文の探し方に疑問があったとき EYRJ で疑問を解決できた
- ・研究室の活動で power point を用いたスライドの作成に不安があった時に EYRJ で疑問を解決できた
- ・亥鼻のグループ学習室や西千葉のディスカッションスペースでグループでの学習を行っている
- ・論文閲覧

支援の提案：

- ・研究室の活動中に困ったことを入力したときに、アカデミック・リンクのサービスの中から適切なものを提案してくれる Chatbot なるものがあると、サービスの利用の促進につながるかもしれない
- ・学習支援でどういうことをしているのかをもっとわかりやすく宣伝すべき
- ・グループ学習室のオンライン予約、貸し出し状況閲覧
- ・亥鼻にも話しやすい空間を作ってほしい（飲食スペースの近くとかならしゃべりやすい?）
- ・充電器貸し出し

その他：

- ・個人的にアカデミック・リンクを利用したことはなく、存在も今回お話をいただいて初めて知りました。薬学部の自分の周囲の人たちも同様でした。
- ・動画をみて、グループ学習などを積極的に行えるような場所や学習のサポートを受けられる場所があると学習面での問題を一人で抱え込まなくなると思いました。亥鼻でもあったら助かる人はいると思いました。
- ・薬学部の学生は学んでいる分野的にもキャンパスの立地的にも視点や考え方が近くなるように思うので、アカデミック・リンクの他学部生と関わられるような機能が広がれば、物事を多角的に見たり考えたりする能力の向上につながるのではと思いました。

修士1年

- ・どのように活用しているのか

アカデミック・リンク・センター/附属図書館における学習支援環境が、正課授業及び授業外学習の充実等、大学での学びにどのように生きているのか

図書館を学習スペースとして利用することはあったが、アカデミック・リンクのサービスが多く提供されていることは知らなかった。

利用したことがあるもの

- ① グループ学習室：テスト勉強で使用したことあり
- ② 千葉大学 Moodle：研究の間に授業を視聴できる
- ③ 本の貸し出し：延長や貸し出しをネットでできる、他の図書館で返せる
- ④ 電子ジャーナル：論文のデータベースは、研究活動での文献調査や論文紹介セミナーで利用している
- ⑤ 館内での Wi-Fi（無線 LAN）の利用

知らなかったもの

あかりんアワー等のセミナー

・どのような支援を希望するか

図書館のサービスに関して

① 電子ジャーナルを増やす

論文閲覧時に千葉大のアカウントを持っていても見られないコンテンツもある。

② グループ閲覧室：オンラインで利用したい

セミナーに関して

③ セミナーを視聴しやすい環境づくり

今年度で開催されたあかりんアワーのセミナーを以下にまとめた。

回数	日付	タイトル	発表者の所属
592	10月22日	卒業研究に向けて今からできること～理系編～	融合理工学府
590	10月15日	身近な現象を数理モデルで解き明かす	情報学研究院
589	10月1日	微生物の作るカプロン酸で植物病原菌をやっつける！	園芸学研究院
588	7月30日	超短パルスレーザースライシングによる 半導体用ダイヤモンドウエハの作製	融合理工学府基幹工学専攻
587	7月23日	宇宙実験から学ぶ植物のはたらき	園芸学研究院
586	7月16日	化学実験レポートの書き方	園芸学研究院
585	7月9日	移民・難民と共に作る社会	社会学研究院
584	7月2日	SBL-EIT法を用いた弾性ストックキングによる むくみ治療効果の可視化計測	融合理工学府基幹工学専攻
583	6月25日	「マイクロ流路」を用いて血液中のがん細胞を捕まえる！	工学研究院
582	6月18日	学生相談室の窓口から	学生相談室
581	6月11日	見えないものが見えてくる！ 光を辿る次世代イメージング技術の紹介	情報研究院
580	5月28日	おうちからできる文献検索	附属図書館
579	5月21日	廃棄プラスチックの肥料化への挑戦	工学研究院
578	5月14日	基礎から学ぶレポート・論文の書き方	人文公共学府
577	5月7日	昆虫の"ものづくり技術"を学ぶ	理学研究院
576	4月30日	園芸イノベーションで世界を豊かに	園芸学研究院
575	4月23日	大学図書館の使い方	附属図書館
574	4月16日	バーチャルリアリティと画像技術で医療を変える	フロンティア医工学センター
573	4月9日	元気に大学生活をおくるために	総合安全衛生管理機構

医薬系のセミナーに赤字、レポートの書き方など専攻に関係なく学習全般に有意義な内容に黄色の塗りつぶしを付した。全体的に医薬系からの発表が少なく、園芸や理学系の内容が多かった。
オンライン授業の影響もあり西千葉になじみがないから行こうと思わなかった。

希望している支援

もう少し専門よりの内容があれば聞きやすいと感じた。

亥鼻で開催があれば聞きに行きやすいと感じた

日本語の論文、学会要旨の書き方を求めている大学院生は多いと感じた。

「アカデミック・リンクでもっとこんなことができたらいいな」と考えること

セミナーに関して

- ・学内のモニターなどで流す
- ・亥鼻 120周年を開放して昼休み流す

その他のサポートに関して

- ・亥鼻キャンパスでも留学のサポートがあればよいと感じた(説明会を聞くために西千葉キャンパスまでいかなければならないため)
- ・論文などのオンライン添削サービスがあればよい
- ・学会参加に関するサポートを増やしてほしい

修士2年

・どのように活用しているのか

1年次に西千葉の図書館で会話スペースや一人での学習スペースを利用していた。

英語論文セミナーに参加したことがある。

何らかの用事があるときの時間調整（居心地がいい）

学内 Wi-Fi の利用

・どのような支援を希望するか

亥鼻キャンパスにもオンサイトで技術支援・学習支援・利用支援が利用できるようにしてほしい。

英語の支援に関しては、留学・英会話だけではなく、TOEIC や TOEFL の対策とかもしてほしい。

Igor や Python の実践的な講習会を開いてほしい。

AI 活用方法セミナーを開いてほしい。

他の大学とのアカデミック・リンク的なコンテンツとの連携

文献の購読を再開してほしい

アカデミック・リンクからの留学支援（ホテル探すとかお金とか色々、留学義務な割に支援が少ない）

メール等でアカデミック・リンクの広報活動をして欲しい、知らない人が意外と多いので

PC 購入アドバイザーが欲しい。

博士1年

1 現在のアカデミック・リンク活用の場

(1) 図書館

最近では研究室でレポート作成や情報検索を実施する機会が多く、施設としてアカデミック・リンク・センターを使用する機会は少ない。また学部生時代は亥鼻分館にて国家試験の勉強や定期試験前の試験対策で利用した。

(2) O P A C

頻繁に使用する機能は My Library のデータベース利用である。研究活動において論文を検索する時に、千葉大学が契約しているジャーナルを不自由なく読めるので便利である。また学外からもアクセスできるため、休日に自宅やワーキングスペース等でデータベースにアクセスすることで、大学に行くことなく研究やゼミ発表の準備に活用できている。他には、図書館の蔵書検索や亥鼻分館以外に所蔵されている図書の取寄せ、予約機能を使用している。

2 希望したい支援

(1) 生成 A I による学習支援機能

Chat GPT に代表されるように近年、A I を活用した情報の検索支援や文章の作成支援等の技術が進歩しつつある。大学内外における各種データベースへのアクセスの際に、より適切な条件でより適した情報に到達できるようにするために、Chat GPT や Copilot のような生成 A I の導入を検討してほしい。

(2) 文献管理ソフト

ダウンロードした論文を保存できるコンテンツ（Paperpile や Mendeley 等）の存在を学部生時代は知らなかったため、文献の管理が大変だったと記憶している。文献管理ソフトの紹介や、ソフトの全ての機能が利用できる有料版をいつでも使える環境があれば、より充実した研究活動を行えるのではないかと考える。

3 理想と考える長期的な展望

社会人学生の視点から、実験室で行う必要がある手技等以外の研究活動を、自宅や職場等の外部からアカデミック・リンクにより支援を受けながら実施できる環境が理想と考える。これは社会人学生に限らず、遠方に在住する学生が大学の所在地に縛られることなく休日等の学習環境を充実させるのにも役立つだろう。また事故や病気による入院等が原因による修学期間の延長も抑制できると考える。

博士2年①

学生がアカデミック・リンクをどのように活用しているか、場所・支援・コンテンツの3つに分けて意見を集め、集計した

場所としての利用

西千葉・松戸とは異なり亥鼻キャンパスではアカデミック・リンク・センターの管轄する建物が存在しない。

→場所としての利用として得られた回答は西千葉キャンパスを訪れた際に図書館に立ち寄りといった程度の利用のみである。

サポートの利用

研究室の学生からはサポートを利用したという回答は得られなかった。サポートの存在を知っているという人も3割程度にとどまっていた。

コンテンツの利用

研究室内で簡易的なアンケートを実施したところ、得られた回答としては、電子書籍が主であった。

・アカデミック・リンクの拡充のために何が求められるか。

まず、「アカデミック・リンクの更なる拡充のために何が求められるか」といった内容で意見を集めたところ、最も多かったものは、「亥鼻キャンパスにも西千葉の図書館にもあるような、予約なしで自由に利用可能なグループディスカッションができる場所が欲しい」といったものであった。それに加えて、オンラインでの双方向の学習であったり、机付きの雑談可能スペースの増築といった、「場所」に関連するもののみが回答として得られていた。

このことから、私の実体験も含めて、学生の表面化しているニーズとして挙げられるのはグループワーク等に取り組みやすい環境としての「場所」であると考えている。

また、得られた回答を踏まえると、サポートを利用している人が圧倒的に少ないということが、特徴的であると見受けられる。そこで、学習環境の充実といった観点からの提案を考えた。

各科目の学習支援についてはN棟2階で目にする機会も多いが、課題等でわからなくなった時には、学科内の友人とのディスカッションによって解決しているだろう。一方で、正課の活動の範囲に収まらない学びに関して言えば、それは学科内、学部内では解決しきれない問いになってくることが多い。

そこで、千葉大学の総合大学であるという強みや「アカデミック・リンク・センター」という学部の枠組みにとらわれない組織の特徴を活かした、他学部との人的なつながりを形成するためのいわばハブとなるような機能を支援として拡充することを提案する。これにより、分野横断的な知識と、専門分野の分野横断的な活用が可能となり、社会の変革に柔軟に対応する能力を高めるだろう。

また、個人的な主観ではあるが、アカデミック・リンク・センターがどのような取り組みを行っているかをより多くの人に知ってもらう必要があると考えた。例えば研究室の中に実体験として利用したことのある人がいるなどの状況であれば、利用や認識は広がりやすいのではないかと考える。

博士2年②

私が所属する薬効薬理学研究室では研究室に所属する学生全員から多くの意見を頂きました。その中でも、学年共通の問題と感じる意見が有りましたので、3つの意見を述べたいと思います。

1. アカデミック・リンクの存在を知らない。

アカデミック・リンクの紹介動画に有りましたが、アカデミック・リンクが実際に設置されている場所は西千葉・松戸キャンパスにしかなく、亥鼻キャンパスには有りません。そのため、亥鼻キャンパスで研究を行う、授業を受ける学生の意見としては「初めてアカデミック・リンクという単語を耳にした」、「亥鼻キャンパスにすることが多いのでアカデミック・リンクを利用することはほとんどないし、様々なサービスや図書館内の目的別エリア分類があることも知らなかった」、「アカデミック・リンクが理念を持って、色々なことに気を配りながら様々な活動をしていたことを初めて知った。」という意見でした。個々の意見をまとめますと、アカデミック・リンクの動画を視聴して①**初めてアカデミック・リンクの存在を知った**、②**アカデミック・リンクの活用方法を初めて学んだ方々が多い**ように感じました。

2. アカデミック・リンクの支援・活用方法が西千葉キャンパスに偏っている。

亥鼻キャンパスにはアカデミック・リンクの施設が有りませんが、亥鼻キャンパスに在籍する学生の中でもアカデミック・リンクの存在を知っている方々はいました。ですが活用方法に関して上手く利用することができず、研究に多くの時間を割いている学生の意見としては「低学年時は西千葉キャンパスで授業を受けていたため、自主学習やグループ学習で多く活用していた、亥鼻キャンパスで過ごす時間が多くなってからアカデミック・リンクを活用する機会が激減した」「用途に合わせた勉強できるスペースが亥鼻には足りていない」、「西千葉の図書館が非常に学習環境として充実しているのはわかったが、亥鼻の図書館についてもどのような工夫がなされているのかを紹介して欲しい」「亥鼻キャンパスには Place としてのアカデミック・リンクはないのか気になった。」という意見でした。個々の意見をまとめますと、**アカデミック・リンクの活用方法が亥鼻キャンパスの学生にまでうまく周知されていない**ように感じました。

3. アカデミック・リンクの支援・コンテンツ内容の充実化を図って欲しい。

最後に、ここではアカデミック・リンクの環境面・学習面について、より充実した内容を求める意見が挙がりました。環境面では、「自習スペース、飲食可能エリアを広げて欲しい」、「建物内が暗いので明るくして欲しい」という意見が出ました。

学習面における支援・コンテンツ内容に関しては、数多くの論文を読む学生から「nature の姉妹紙すら読めないものがある」「年々読める雑誌の数が減っているように感じる」。「論文を取り寄せるのに苦労するのでもう少しスムーズに取り寄せられるようにしたい」、「見ることが出来る論文が限られているので、もう少し増やして欲しい」。また外国の留学生の方々からは、「図書館に置いてある書籍の言語の数を増やして欲しい。中国人なので、図書館の中国語の本を増やすことで、母国語での学習や研究がしやすくなる。」という意見が挙がりました。個々の意見をまとめますと、**環境面では学習しやすい環境の整備を整えて欲しい**ことと、**学習面では文献や書籍において、読むことのできる雑誌の数や書籍の多言語化をして欲しい**という意見が数多く挙がりました。

【解決するための具体的な提案】

1. 亥鼻キャンパス内にアカデミック・リンクの活動を周知して欲しい。

「実際にネット上にも素晴らしい機能があるということを知ったので、それを紹介するプリントなどを配って、アカデミック・リンクの活動を周知する機会を作ってもらいたい。」「Gmail で来るあかりんアワーは大量に流れて来るメールの中に埋もれて見ないことが多いので、研究室ごとに紹介の紙を送るか、公式 LINE を作る等、周知する方法を変えて欲しい。」

2. 亥鼻キャンパス内にもアカデミック・リンクを設置して欲しい。

「亥鼻キャンパスにも医学部棟の 3 階にグループ学習に使える場所は存在していますが、医学部生以外の使用は原則認められていないので、薬学部生や看護学生のために、グループ学習室を設けて頂きたい。」「西千葉図書館 N 棟のような自由に使えるグループ学習室的なものが欲しい。」「亥鼻の学生は気軽に利用しにくいと思うので、同じような施設を亥鼻にもつくって欲しい。」

3. 西千葉キャンパスで行っている支援内容を亥鼻キャンパス内にも同様の支援を行って欲しい。

「イベントは、誰でも参加しやすいようにオンライン開催を推奨されていますが、対面での開催を増やすべきだと考えています。私自身、亥鼻イングリッシュハウスの設営に関わっており、このプロジェクトが発足された背景には、「西千葉のイングリッシュハウスだけでは参加が難しい」との意見があったためです。オンラインだけではなく、対面での開催の重要性も再度見直すべきだと考えます。」

「私は亥鼻分館と西千葉本館の連携が不十分ではないかということアカデミック・リンクを紹介する動画を視聴して感じました。西千葉本館で行われている支援は素晴らしいと思いました。特に、大学院生によるレポートの書き方の指導や補習のようなものは、授業外学習の質を高める上で大変有用であると思いますが、亥鼻でそのような支援があるとは聞いたことがありません。アカデミック・リンクの制度としての学習サポートが亥鼻にも存在すれば、多くの科目を学習する薬学生にとって、学習の質が上がると考えます。ぜひとも西千葉の学生が享受できているその支援を亥鼻まで広げて欲しいです。」

ここでは、様々な提案策を出しましたが、総じて言えることは、**西千葉キャンパスで行っている学習環境、支援内容は亥鼻キャンパスに在籍する学生も同等の内容を求めている**ということです。